

審 議 事 項

件名・議案		提案者	別添 資料 (頁)	提案理由等 (※シンポジウム等、後援関係については概 要を記載)
1. 委員会関係				
提案 1	(課題別委員会) 高レベル放射性廃棄物の処分に 関するフォローアップ検討委員 会 (1)分科会委員の決定 (前回保 留分 2 件)	会長	別添 (1)	高レベル放射性廃棄物の処分に 関するフォローアップ検討委員会 における分科会委員を決定する 必要があるため。
2. シンポジウム等				
提案2	公開シンポジウム「福島原発災 害後の国民の健康支援のあり方 について」 (仮)	春日副会長	別添 (2～3)	主催：日本学術会議、日本医師会総合 政策研究機構 日時：平成26年2月22日 (土) 13:00～ 17:00 場所：日本医師会館大講堂

(提案 1)

【課題別委員会】

○委員の決定（前回保留分 2 件）

（ 高レベル放射性廃棄物の処分に関するフォローアップ検討委員会 暫定保管
に関する技術的検討分科会 ）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考	推 薦
船橋 晴俊	法政大学社会学部教授	連携会員	副会長

（ 高レベル放射性廃棄物の処分に関するフォローアップ検討委員会 暫定保管
と社会的合意形成に関する分科会 ）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考	推 薦
山地 憲治	公益財団法人地球環境産業技術研究機構(RITE)理事・研究所長	第三部会員	第三部
柴田 徳思	公益社団法人日本アイソトープ協会常務理事	連携会員	第三部

(提案 2)

公開シンポジウム「福島原発災害後の国民の健康支援のあり方について」 (仮)

1 主 催：日本学術会議、日本医師会総合政策研究機構

2 開催時期：平成 26 年 2 月 22 日（土）13:00～17:00

3 開催場所：日本医師会館 大講堂（東京都文京区本駒込 2-28-16）

4 開催趣旨

東京電力福島第一原子力発電所事故後の健康管理に関して、日本学術会議は平成 24 年 4 月、東日本大震災復興支援委員会放射能対策分科会による提言「放射能対策の新たな一歩を踏み出すために一事実の科学的探索に基づく行動を」において、住民健診・検診の継続実施体制の整備や医療体制の整備について提言した。一方、日本医師会は、日医総研ワーキングペーパー『福島県「県民健康管理調査」は国が主体の全国的な“健康支援”推進に転換を』を平成 25 年 5 月に発表するなど、健康管理、健康支援について積極的に発言してきた。

日本を代表する 2 つの学術専門団体が、こうした各々の取り組みを踏まえ、さらに連携を深め協力して、国民への健康支援をはじめとする東京電力福島第一原発災害後の対処のあり方について議論を深めていくことが極めて重要であることから、このたび、共催シンポジウムを開催することとしたものである。本シンポジウムにより、原子力発電所事故後の国民の健康管理について、幅広い観点から議論が深まることが期待される。

5 次第（予定を含む。）

司会：石井 正三（日本医師会常任理事）

（1）13:05～13:15 開会挨拶

- ・横倉 義武（日本医師会会長、日本医師会総合政策研究機構所長）
- ・大西 隆（日本学術会議会長・第三部会員、慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特別招聘教授、東京大学名誉教授）

（2）13:15～16:00 講演

座長：澤 倫太郎（日本医師会総合政策研究機構研究部長）

- ・ 島 蘭 進（日本学術会議第一部会員、上智大学神学部教授）
- ・ 森口 祐一（日本学術会議特任連携会員、東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻教授）
- ・ 木田 光一（福島県医師会副会長）

＜ 休 憩 5 分 ＞

座長：石井 正三（日本医師会常任理事）

- ・ 後藤 あや（福島県立医科大学准教授）
- ・ 明石 真言（独立行政法人放射線医学総合研究所理事）
- ・ 伊藤 和子（国際人権NGOヒューマンライツ・ナウ事務局長）

＜ 休 憩 10 分 ＞

（3）16:00～17:00 パネルディスカッション

「福島原発災害後の国民の健康支援のあり方について」

パネリスト： 上記6名の講演者

座長：石井 正三（日本医師会常任理事）

春日 文子（日本学術会議副会長・第二部会員、国立医薬品食品衛生研究所安全情報部長）

（4）閉会挨拶

- ・ 中川 俊男（日本医師会副会長）